



追加型投信/内外/複合資産

## 2021年10月 - 月次レポート

## 市場の動き

10月の海外株式相場は上昇しました。米国では、9月の雇用統計で非農業部門雇用者数が前月比+19.4万人となり、市場予想を大きく下回りました。また、7-9月期の実質国内総生産(GDP)成長率(速報値)は前期比年率+2.0%となり、市場予想以上に減速しました。欧州では、ドイツの10月のZEW景気期待指数が5か月連続の低下となり、市場予想も下回りました。一方、7-9月期のユーロ圏実質域内総生産(GDP)成長率(速報値)は前期比+2.2%となり、2四半期連続の高い伸びとなりました。

こうした環境下、米国では、米連邦政府の債務上限問題への懸念が後退したことや、好調な企業決算等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。また、欧州も、月前半はエネルギー価格の上昇を背景としたインフレ加速懸念等から上値の重い展開となったものの、月後半は好調な企業決算等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。

一方、国内株式相場は下落しました。上旬に中国の不動産大手の債務問題への懸念や米国の金利上昇等から下落し、その後は円安ドル高が進んだことや経済活動再開への期待等から反発したものの、最終的に前月末を下回る水準で月を終えました。

海外債券相場は下落しました。前月末に1.4%台後半であった米国10年物国債利回りは、インフレ長期化懸念や金融政策正常化観測等から上昇し、最終的に1.5%台後半で月を終えました。前月末に-0.1%台後半であったドイツ10年物国債利回りは、欧州域内景気の回復基調が続き、欧州中央銀行(ECB)による金融政策正常化観測が一段と強まったこと等から上昇し、最終的に-0.1%台前半で月を終えました。

国内債券相場も下落しました。前月末に0.0%台後半であった10年物国債利回りは、米国の長期金利上昇や衆議院選挙後の財政支出拡大への懸念等から上昇し、最終的に0.0%台後半で月を終えました。

為替市場では、米欧における金融政策正常化観測が強まる一方で、日本の金融政策正常化は遅れるとの見方から、米ドルやユーロが買い進まれる展開となり、米ドル/円相場は2.2%の円安、ユーロ/円相場は2.0%の円安となりました。

## ライフポイント

ライフポイントは、投資者のみなさまの長期的な資産形成をお手伝いするために、世界の大手年金基金等が使用している分散投資アプローチを投資信託としてご提供するプログラムです。ラッセル・インベストメントの“マルチ・マネージャー・ファンド”を利用し、“マルチ・アセット(資産クラスの分散)、マルチ・スタイル(運用スタイルの分散)、マルチ・マネージャー(運用会社の分散)”という、3段階のリスク分散により、リスク・コントロールを可能にしたポートフォリオを投資者のみなさまにご提案致します。

## ラッセル・インベストメントグループ

ラッセル・インベストメントグループは、年金、金融機関および個人など様々な投資者のみなさまを対象に、グローバルに総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理など幅広く業務を行っており、現在当グループの運用資産総額は約37兆円※となっています。(※ 2021年9月末現在、為替換算レート: 111.57円/ドル。運用資産総額にはオーバーレイ運用を含みます。)

## ラッセル・インベストメント株式会社

これまでラッセル・インベストメントグループが世界で提供してきた“マルチ・マネージャー・ファンド”を日本で初めて設定・運用管理し、日本の投資者のみなさまにご提供致しております。



追加型投信／内外／資産複合

◆基準価額、純資産総額  
(設定日：2006年4月28日)

	基準価額			純資産総額
	前月末	今月末	前月末比	
安定型	16,653円	16,724円	71円	690百万円
安定成長型	18,957円	19,124円	167円	1,698百万円
成長型	20,972円	21,332円	360円	626百万円

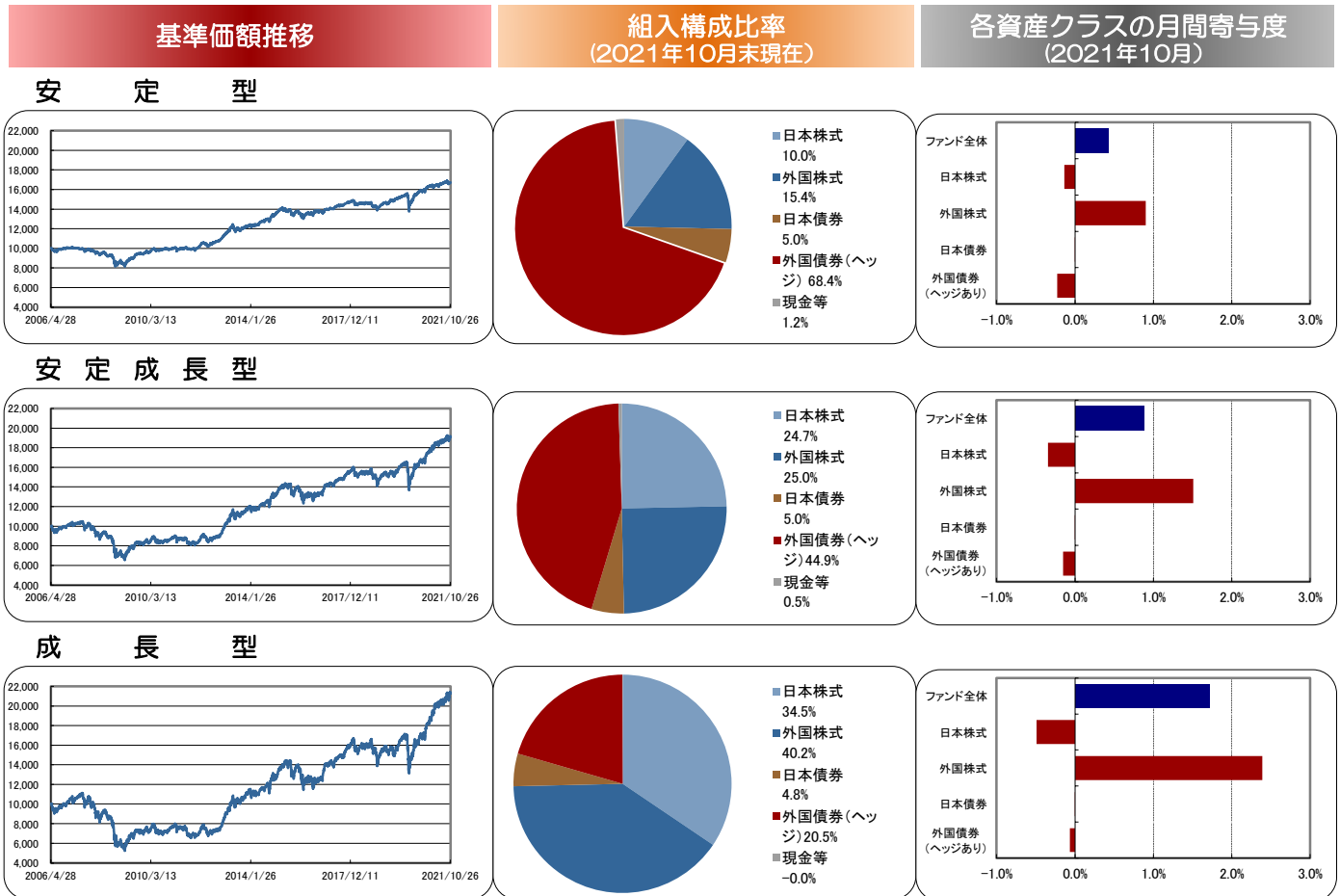
◆基準価額騰落率

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年	設定来
安定型	0.4%	0.0%	1.7%	6.4%	17.2%	67.1%
安定成長型	0.9%	2.1%	3.7%	16.5%	27.1%	91.4%
成長型	1.7%	4.1%	5.8%	28.8%	38.5%	113.8%

◆収益分配金実績  
(1万口当たり/税引前)

	安定型	安定成長型	成長型
13期(2018年11月19日)	0円	0円	0円
14期(2019年11月18日)	0円	0円	0円
15期(2020年11月18日)	0円	0円	0円
設定来分配金累計	0円	0円	0円

※収益分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。



※基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。信託報酬率は、後述の「ファンドの費用」をご覧ください。なお、収益分配金がある場合には税引前の全額を再投資したものととして基準価額の騰落率を計算し、推移をグラフ化します。

※ライフポイントは「ラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド」、「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」、「ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド」および「ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド」を親投資信託とするファミリー・ファンド方式で運用します。なお、各マザーファンドでは、原則として為替ヘッジは行いません。

※各ファンドにおける「ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド」の投資部分については、各ファンドで為替ヘッジを行っています。

※各ファンドにおける組入構成比率のうち、外国債券には為替ヘッジ分が含まれています。

※各資産クラスの月間寄与度は、各マザーファンドの月間騰落率と、各ファンドにおける各マザーファンド組入比率を元に簡便計算したものです。「外国債券(為替ヘッジあり)」の月間寄与度は、各ファンドにおける為替ヘッジの損益を加味して計算しています。なお、月間寄与度の計算に際し、信託報酬等の費用は考慮していません。

※運用成果は過去の実績であり、将来の成果をお約束するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りと異なります。

◆運用状況

10月は、安定型、安定成長型、成長型のすべてのファンドが上昇しました。資産ごとの状況を見ますと、外国株式が上昇し、日本株式、日本債券および外国債券(為替ヘッジあり)は下落しました。10月は、外国株式の組入構成比率が高いファンドに有利な相場展開となりました。

(注)安定型、安定成長型、成長型の3つのファンドを総称して「各ファンド」といいます。



















